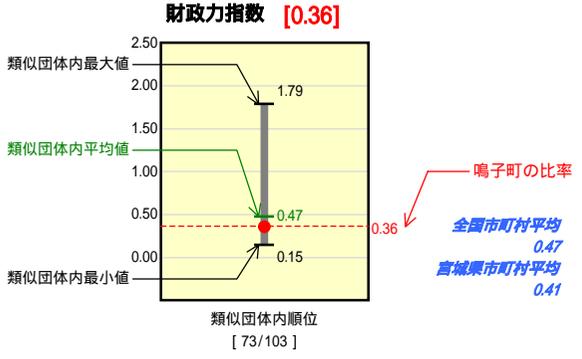


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

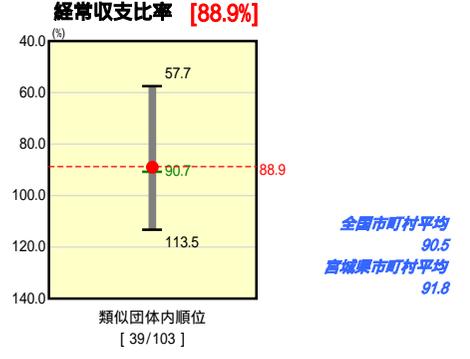
宮城県 鳴子町

人口	8,775 人(H17.3.31現在)
面積	327.55 km ²
歳入総額	4,747,380 千円
歳出総額	4,583,019 千円
実質収支	131,525 千円

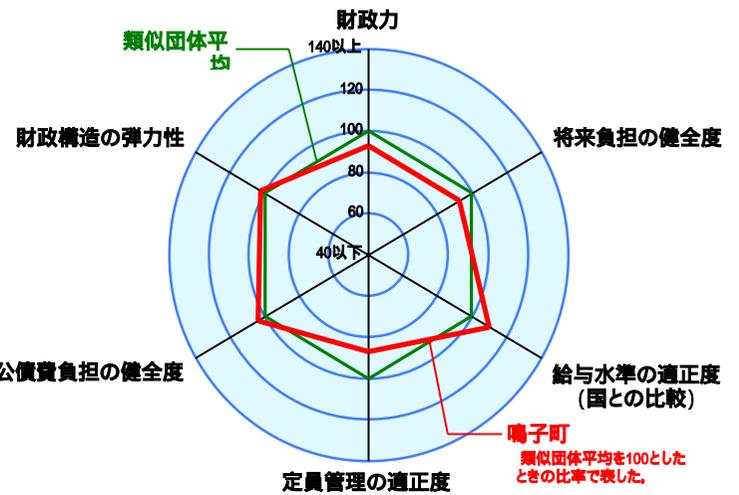
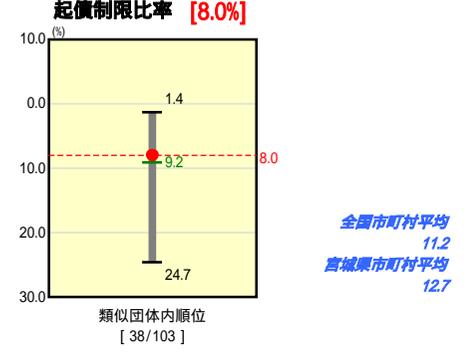
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
・長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから類似団体の平均を下回っているもの、投資的経費の抑制、事務事業の見直しによる経常経費の削減による歳出の削減、観光客の増加による若干の税収の増加により、平成15年度比で0.5%の増加。

経常収支比率
・職員給与の見直し、事務事業の見直しで経常経費の削減を図ったことにより類似団体の平均を下回っているもの、過疎高齢化に伴う、町税の減収、地方交付税の減額や福祉関係経費の増加により高い水準となっている。人件費の削減など行財政改革への取組を通じて義務的経費を削減し、現在の水準からさらに低下させるよう努める。

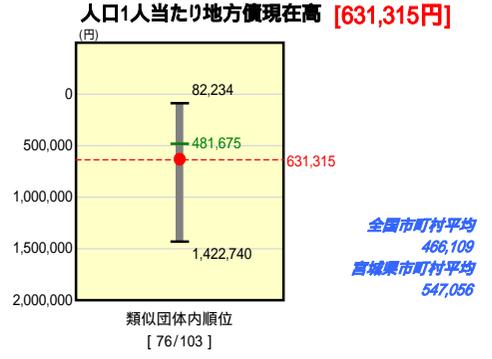
起債制限比率
・ここ数年、普通建設事業を抑制したことから、地方債発行が抑えられ類似団体の平均を若干下回った。しかし、平成16年度から大型建設事業があり地方債の発行が大きくなるため、公債費の負担が大きくなる。

人口1人当たり地方債現在高
・過疎地域のため人口減少が著しく、1人当たりの地方債現在高が類似団体の平均を大きく上回っている。

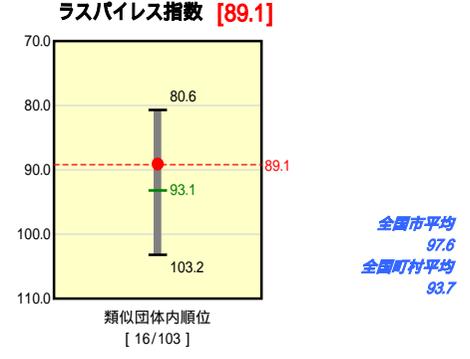
ラスパイレス指数
・類似団体の中でも低い値となっている。今後も、財政健全化及び給与水準の適正化を図るため、人件費の抑制等に努めていく。

人口1,000人あたり職員数
・職員の採用を抑制しているものの過疎地域のため人口の減少が著しく、山間地であるための出張所などへの人員配置により、類似団体の平均を上回っている。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

